

登録No. S-124
 登録名 Phesgo/weekly PAC療法
 催吐性リスク 軽度
 適応疾患 乳癌
 投与スケジュール

	薬剤	投与量	最大投与量	投与日	投与経路	投与時間	備考
Rp.1	フェスゴ	初回 IN/body 2回目以降 MA/body		d1	S.C	初回8min以上 2回目以5min以上	初回は30分間経過観察 忍容性良好なら2回目以降15分経過観察 大腿部のみに投与。前回の部位から少なくとも2.5cm離れた場所に投与
Rp.2	ファモチジン デキサメタゾン マレイン酸クロルフェニラミン 生食	20mg/body 6.6mg/body 5mg/body 100mL/body		d1・d8・d15	d.i.v.	30min	
Rp.3	パクリタキセル 生食	80mg/m ² 250mL/body		d1・d8・d15	d.i.v.	60min	粘調度高いため、輸液総量の1.5倍量をDrip-eyeに設定
Rp.4	生食	50mL/body		d1・d8・d15	d.i.v.	全開	パクリタキセルフラッシュ用

1クールの間 3週間
 標準クール数 4クール（フェスゴは1年間）
 最大クール数
 休薬期間の規定
 投与間隔短縮の規定
 その他

（副作用・PS規定等） 注意： Phesgoが前回の投与日から6週間以上空いた時は、改めて初回投与量で投与。
 PACドーズダウン規定： WBC2500/mm³以下、好中球1000/mm³以下、Hb低下
 PAC投与時： パクリタキセル投与前H2blocker、デキサメタゾン、マレイン酸クロルフェニラミン投与
 初回投与時は心電図モニターを用いる。MP フィルタ付きDEHPfreeの輸液セットを用いる。
 副作用： infusion reaction、発疹、注射部位反応、心不全、
 骨髄抑制、口内炎、味覚異常、脱毛、末梢神経障害、間質性肺炎